

# 社会科 授業改善推進プラン

## 1 学力効果測定結果

- ・全学年において、区の平均点から大幅に下回っており、全ての観点において学習が十分に定着していない。
- ・単一のグラフや表から内容を理解し、傾向を探る読み取りの力がどの学年も十分に育成できていない。
- ・第4学年では、全ての領域の問題で、目標値を下回っている。方位や地図記号など知識の定着と、資料から読み取ったことをもとに考える力の育成が不十分である。社会を学ぶ素地の定着が求められる。
- ・第5学年では、「くらしをささえる水」のほぼすべての設問で目標値を大きく下回っている。森林と水がどのように関連しているのか、資料をもとに考えることができていない。
- ・第6学年では、日本の国土に関する知識の定着が不十分である。また、資料などの情報の読み取りの技能面や、読み取ったことから考察することが苦手であると考えられる。単元ごとの知識理解も浅い。

## 2 児童の実態及び学習効果測定の結果分析（課題）

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取る力を身に付けていない。</li> <li>・地図記号や、東京都の地図における大田区の位置など、地域の学習において基本的な事項が十分に身に付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年全体の平均正答率が大田区平均よりも低い。</li> <li>・地域の様子や支えている産業や特色を考える学習が十分に身に付いていない。</li> <li>・産業を読み取り答えることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取り、考察することが苦手である。</li> <li>・用語は知っていても、それが行われる目的などについて社会的背景と結び付けて考えることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を読み取り、得た情報を使って自分の言葉で文章にまとめることが苦手である。</li> <li>・日本の主な地形の名称と位置について、正答率が目標値を大きく下回っている。これまでに学習した知識が定着していないことがわかる。</li> </ul>

## 3 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・技能			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図などの資料で調べ、大まかな様子を白地図などにまとめさせる。</li> <li>・地図記号の学習において、記号の成り立ちや意味を解説したり、カードに書いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業内で重要な単語や用語を確認し振り返り、知識の習得につなげる。</li> <li>・視覚的にも理解できるようにICTを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で地図や統計などの基本的資料を扱う際に、情報を読み取るための視点を与え、学習内容を理解できるように支援する。</li> <li>・知識の定着のために、クイズや復習プリントを活用する。</li> <li>・視覚的資料を活用し、扱う内容をイメージしやすくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元毎に重要な用語を意識的に使って学習内容をまとめさせる。</li> <li>・ICTを活用し、視覚的に理解できるようにする。</li> </ul>
思考・判断・表現			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大田区の古い建物」、「昔の道具」についてなど、テーマを決めて調べ学習をする機会を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を支える施設の役割や日々の生活とどのように関係があるのかを理解し、そのかわり方や思考する力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたことや問いを、思考のマップに表し、考えたこと友達と共有する機会を設ける。</li> <li>・学習していることと、実社会のつながりを理解し、社会への関わり方を選択・判断する力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から調べ、知った情報から自分なりの考察をまとめ、文章に表す時間を確保する。</li> <li>・書き表したまとめを共有させることで、多様な表現方法に触れさせる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と関連付けて学習事項を捉えられるように、学区内にある商店や工場、消防設備などを調べる学習を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や経験と学習を結び付け、導入から興味・関心に向け、主体的に取り組めるようにまとめのイメージをもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童らの日常生活の経験と結び付けて導入を行うとともに、見通しとゴールイメージをもたせることで主体性を高める。</li> <li>・児童が見出した問いをもとに、授業を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に取り組めるように、動画や写真などの関連資料を提示し、興味・関心をもたせる工夫を行う。</li> </ul>

※重視する内容は、網掛けで強調する。